

G1-2025-

一般教養論文

試験問題

注意事項

1. 解答時間は **1 時間 20 分** です。
2. 答案用紙の記入について
 - (ア) 答案用紙は 1 枚(両面)です。
 - (イ) 答案は濃くはっきり書き、書き損じた場合は、解答の内容がはっきり分かるように訂正してください。
 - (ウ) 表側の各欄にそれぞれ必要事項を記入してください。
 - (エ) 試験の公正を害するおそれがありますので、答案用紙の切取線より下の部分に氏名その他解答と関係のない事項を記載しないでください。
3. この問題集は、本試験種目終了後に持ち帰りができます。
4. 本試験種目の途中で退室する場合は、退室時の問題集の持ち帰りはできませんが、希望する方には後ほど渡します。別途試験官の指示に従ってください。なお、試験時間中に、この問題集を切り取ったり、転記したりしないでください。
5. 下欄に受験番号等を記入してください。

第 1 次試験地	試験の区分	受験番号	氏 名
----------	-------	------	-----

指示があるまで中を開いてはいけません。

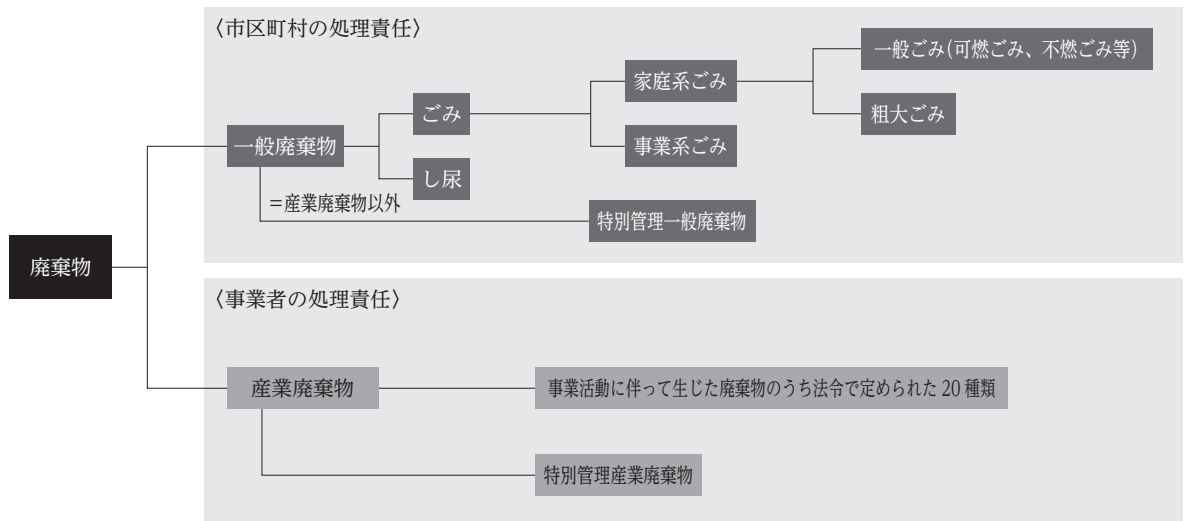
途中で退室する場合………本試験種目終了後の問題集の持ち帰りを

希望しない

我が国における一般廃棄物(ごみ)の処理の状況をみると、ごみ総排出量、一人一日当たりごみ排出量のいずれも、2000 年度以降減少傾向にあり、2022 年度におけるごみ総排出量は、4,034 万トン(東京ドーム約 108 杯分、一人一日当たりごみ排出量は 880 グラム)となっている。

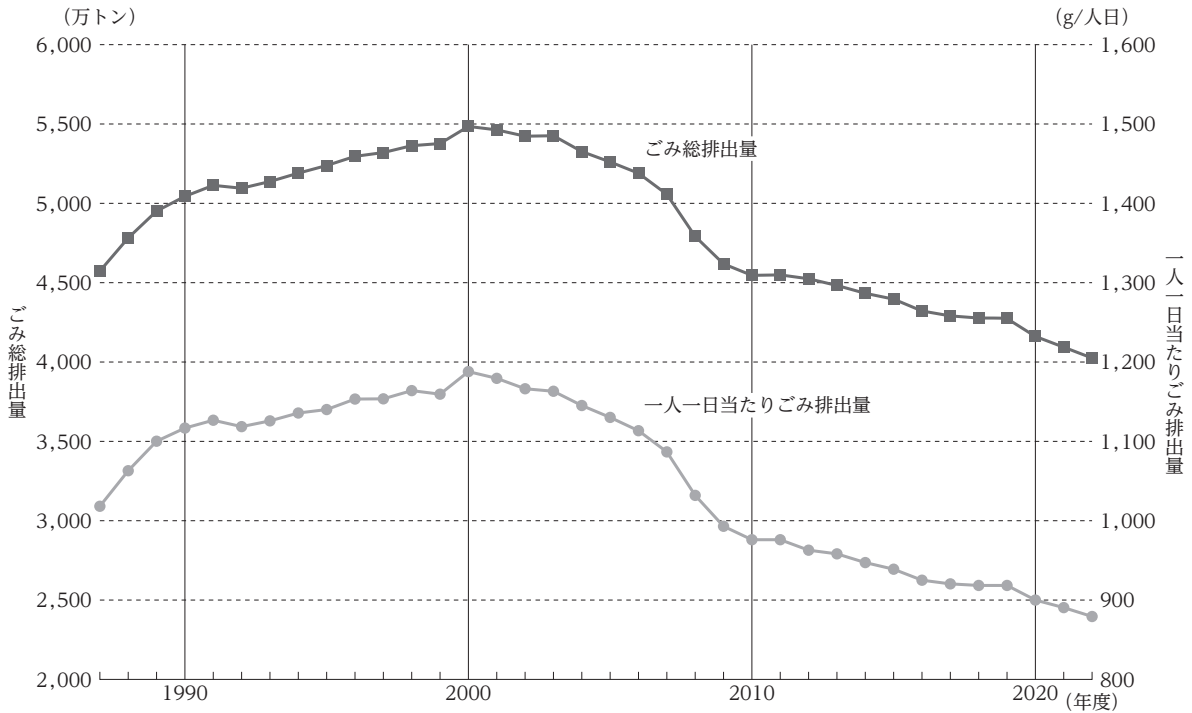
このような状況に関して、以下の資料①～④を参考にしながら、次の(1)、(2)、(3)の問いに答えなさい。

資料① 廃棄物の区分



<出典> 令和 6 年版 環境・循環型社会・生物多様性白書に基づき作成

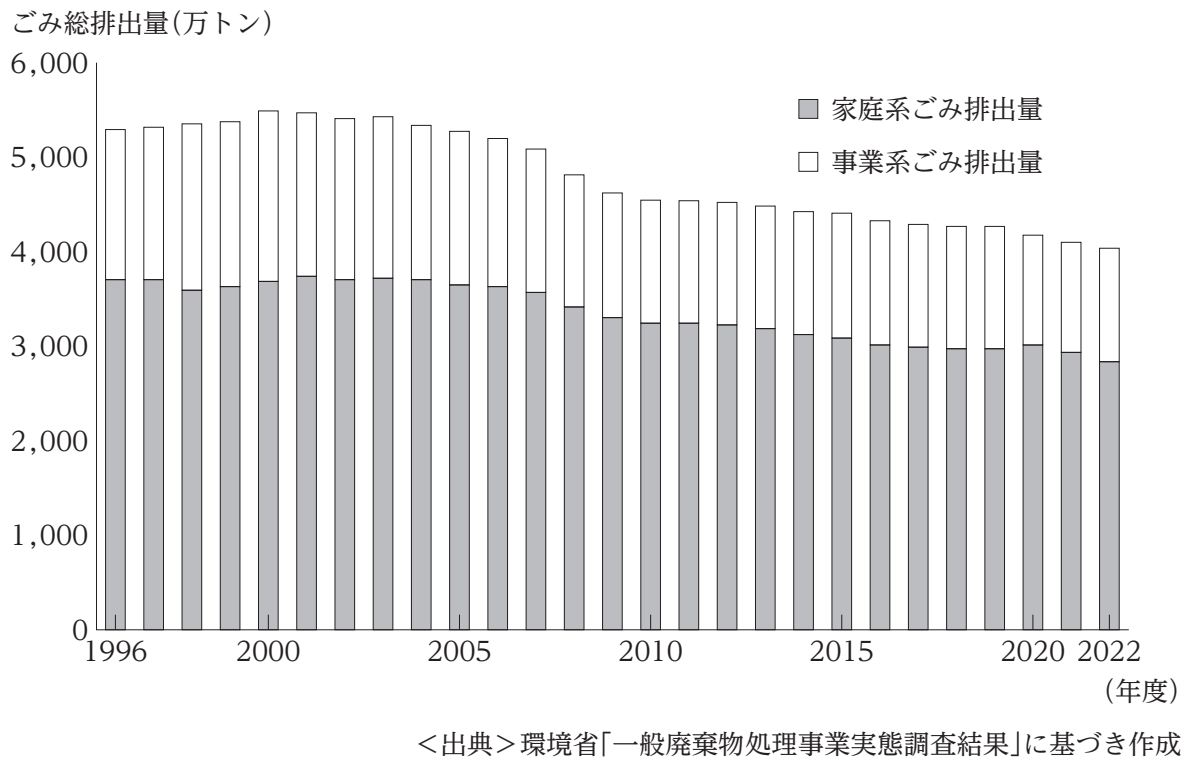
資料② ごみ総排出量と一人一日当たりごみ排出量の推移



注 1：2005 年度実績の取りまとめより「ごみ総排出量」は、廃棄物処理法に基づく「廃棄物の減量その他その適正な処理に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための基本的な方針」における、「一般廃棄物の排出量(計画収集量+直接搬入量+資源ごみの集団回収量)」と同様とした。
 2：一人一日当たりごみ排出量は総排出量を総人口×365 日又は 366 日でそれぞれ除した値である。
 3：2012 年度以降の総人口には、外国人人口を含んでいる。

<出典> 令和 6 年版 環境・循環型社会・生物多様性白書に基づき作成

資料③ 排出形態別にみた、ごみ総排出量の推移



資料④ 家庭系ごみ収集手数料の有料化の状況(粗大ごみを除く)

	有料化を実施している (一部有料化を含む)	有料化を実施していない	収集していない
全 1,741 市区町村	1,162	578	1

<出典> 環境省資料に基づき作成

- (1) ごみ総排出量等を減少させることの意義や必要性についてのあなたの考えを、具体的に述べなさい。
- (2) 2000 年度以降、ごみ総排出量等が減少傾向にあることの原因として考えられるものを複数挙げて、そのように考える理由と併せて具体的に述べなさい。
- (3) 家庭系ごみ収集手数料を有料化することについて、メリット及びデメリットをそれぞれ複数挙げた上で、全国的に有料化するべきか否かについてのあなたの考えを、そのように考える理由と併せて具体的に述べなさい。